

平成30年度 成美地区
地区活性化事業に伴う用地測量業務委託
＜スウェーデン式サウンディング試験＞
報告書

調査場所

駿東郡小山町藤曲地内

平成30年 8月

御 殿 場 市 川 島 田 1 9 2 1 - 4
株 式 会 社 駿 河 調 査 設 計
代 表 取 締 役 社 長 勝 間 田 賢 一
電 話 (0 5 5 0) - 8 9 - 5 5 7 0 (代)

目 次

1. 調 査 概 要	1
2. スウェーデン式サウンディング試験法	3
3. 調 査 結 果	5
・ 調査地点位置図	6
・ 地層断面線図	7
・ 地質想定断面図	8
・ データシート	9

< 巻末資料 >

- ・ 使用機材カタログ
- ・ 現場写真

1. 調査概要

- 1) 工事名称 ; 平成30年度 成美地区
地区活性化事業に伴う用地測量業務委託
- 2) 調査場所 ; 駿東郡小山町藤曲地内
- 3) 調査年月日 ; 平成30年8月23日～平成30年8月24日
- 4) 調査目的 ; 建築予定建物の設計のため、必要な資料を得ることを目的とした。
- 5) 調査担当者 ; 調査担当者 村越 亮介
(地質調査技師技士 第19566号)
- 6) スウェーデン式サウンディング試験(JIS A 1221)
ジオカルテⅢ (日東精工製)
- 7) 調査数量
箇所数 ; 13ヶ所

測点	最終貫入深さ(GL-m)	備考
BR1	1.00	以深貫入不可
BR2	1.20	以深貫入不可
BR3	2.85	以深貫入不可
BR4	1.75	以深貫入不可
BR5	1.00	以深貫入不可
BR6	2.70	以深貫入不可
BR7	2.40	以深貫入不可
BR8	2.30	以深貫入不可
BR9	1.70	以深貫入不可
BR10	1.45	以深貫入不可
BR11	1.00	以深貫入不可
BR12-1	0.95	以深貫入不可
BR13	1.50	以深貫入不可
合計	21.80	m

2. スウェーデン式サウンディング試験法

○適用範囲

スウェーデン式サウンディング試験機を用いて、原位置における土の貫入抵抗を測定し、その硬軟又は締まり具合、或いは土層の構成を判定する試験に適用する。

○試験方法

1. 長さ0.8mのロッド先端にスクリーポイントを取り付け、調査地点に鉛直に立てて支える。
2. このままでロッドが地中に貫入するかどうかを確かめ、貫入する場合は荷重に対する貫入量を記録し、貫入しない場合は荷重を順次載荷し(荷重段階は500N、750、1kN)、途中貫入する場合は荷重に対する貫入量を記録し、その操作を繰り返す。
3. 載荷荷重が1kNで貫入が止まった場合には、次のロッド目盛り線(25cm)まで貫入させるのに要する半回転数を記録する。
4. 測定が終了したら、載荷荷重を取り除き、貫入した全ロッドを引き抜き、ロッド本数及びスクリーポイントの異常の有無を調べる。

○試験結果の記録と整理

1. 回転貫入ではなく荷重だけによって貫入が進む場合には、荷重の大きさとスクリーポイント先端の地表からの貫入深さを記録する。
2. 載荷重1kNで、回転によって貫入が進む場合には、半回転数 N_a に対応し、その時の貫入量(L)を計算する。
3. Lに対応する N_a 値は次式を用いて、貫入量1m当たりの半回転数 N_{sw} に換算して記録する。(L=25cmの場合)
$$N_{sw}=4N_a \text{ (半回転数/m)}$$
4. 貫入早さが急激に増大したり減少する場合には、貫入状況を詳しく記録する。
5. 試験結果は縦軸に地表からの深さD、横軸に荷重の大きさ W_{sw} と貫入量1m当たりの半回転数 N_{sw} をとって図示する。

試験計算法

1) 換算 N 値の算出

A) 粘性土の場合

$$N \text{ 値} = 0 + 3 \cdot W_{sw} + 0.05 \cdot N_{sw}$$

B) 砂質土の場合

$$N \text{ 値} = 0 + 2 \cdot W_{sw} + 0.067 \cdot N_{sw}$$

W_{sw} : 載荷荷重 (kN)

N_{sw} : 貫入量 1m 当たりの半回転数

2) 長期許容支持力の算出 (q_a)

$$q_a = 0 + 30 \cdot W_{sw} + 0.6 \cdot N_{sw} \quad (\text{kN/m}^2)$$

データシートの推定柱状図の凡例



3. 調査結果

当調査地は駿東郡小山町藤曲地内の沖積層地盤上に位置している。付近は主として泥砂礫質地盤が優勢に堆積しているものと思われる。

今回、建物予定地の13ヶ所に於いてスウェーデン式サウンディング試験を実施した。その結果はデータシートに示す通りであり、データシートに換算N値と換算許容支持力 q_a (kN/m²)が示されているので設計の参考として下さい。

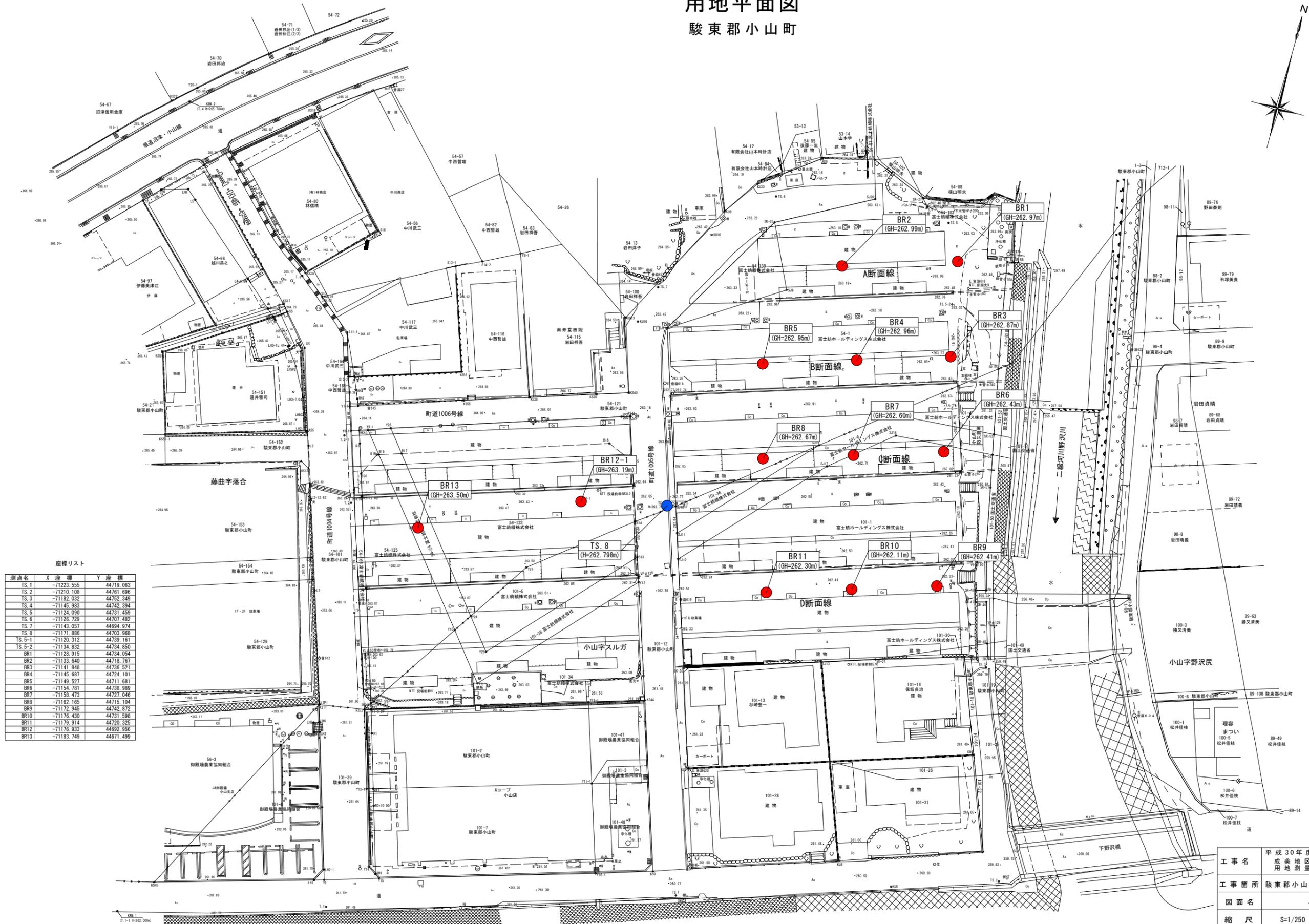
試験結果の概要は次の通りである。

BR1地点	GL～0.25m	粘性土	$q_a=22$ (kN/m ²)
	0.25～1.00m	礫質土	$q_a=99\sim 170$ (kN/m ²)
BR2地点	GL～1.00m	粘性土	$q_a=37\sim 46$ (kN/m ²)
	1.00～1.20m	礫質土	$q_a=170$ (kN/m ²)
BR3地点	GL～2.50m	粘性土	$q_a=22\sim 109$ (kN/m ²)
	2.50～2.85m	礫質土	$q_a=164\sim 170$ (kN/m ²)
BR4地点	GL～1.50m	粘性土	$q_a=34\sim 109$ (kN/m ²)
	1.50～1.75m	礫質土	$q_a=170$ (kN/m ²)
BR5地点	GL～1.00m	礫質土	$q_a=90\sim 170$ (kN/m ²)
BR6地点	GL～2.00m	粘性土	$q_a=22\sim 150$ (kN/m ²)
	2.00～2.70m	礫質土	$q_a=154\sim 170$ (kN/m ²)
BR7地点	GL～2.00m	粘性土	$q_a=46\sim 123$ (kN/m ²)
	2.00～2.40m	礫質土	$q_a=170$ (kN/m ²)
BR8地点	GL～1.25m	粘性土	$q_a=39\sim 90$ (kN/m ²)
	1.25～2.30m	礫質土	$q_a=170$ (kN/m ²)
BR9地点	GL～0.75m	粘性土	$q_a=1\sim 54$ (kN/m ²)
	0.75～1.70m	礫質土	$q_a=111\sim 170$ (kN/m ²)
BR10地点	GL～0.50m	粘性土	$q_a=1\sim 66$ (kN/m ²)
	0.50～1.45m	礫質土	$q_a=170$ (kN/m ²)
BR11地点	GL～0.50m	粘性土	$q_a=61\sim 66$ (kN/m ²)
	0.50～1.00m	礫質土	$q_a=170$ (kN/m ²)
BR12-1地点	GL～0.95m	礫質土	$q_a=90\sim 170$ (kN/m ²)
BR13地点	GL～1.50m	礫質土	$q_a=78\sim 170$ (kN/m ²)

以上

用地平面図

駿東郡小山町



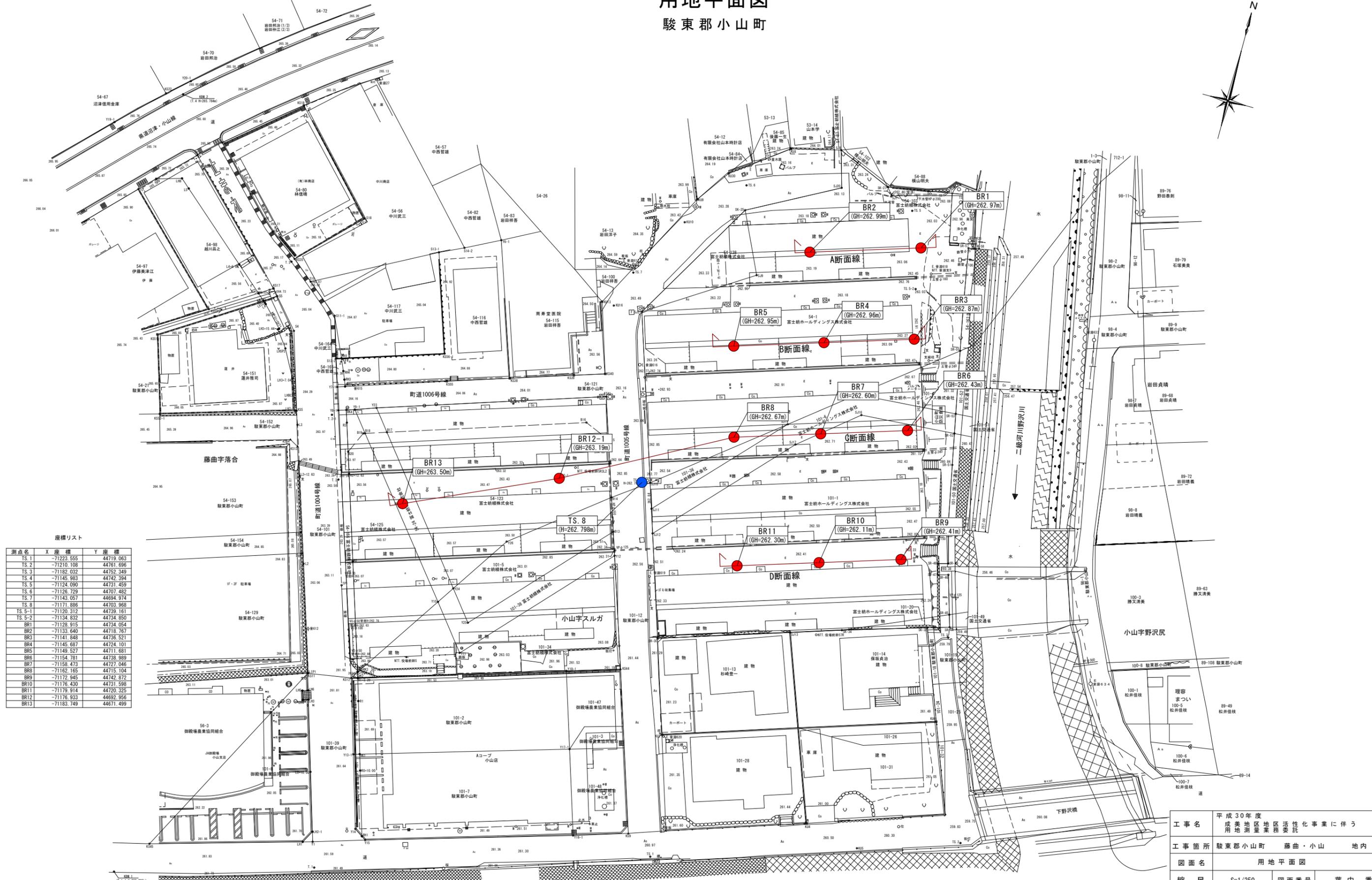
座標リスト

測点名	X 座標	Y 座標
TS. 1	-71223.555	44719.063
TS. 2	-71210.108	44761.696
TS. 3	-71182.032	44752.349
TS. 4	-71145.983	44742.394
TS. 5	-71124.090	44731.459
TS. 6	-71126.729	44701.482
TS. 7	-71143.057	44694.974
TS. 8	-71171.886	44703.968
TS. 5-1	-71120.312	44739.161
TS. 5-2	-71134.832	44734.850
BR1	-71128.915	44734.054
BR2	-71133.640	44718.767
BR3	-71141.848	44736.521
BR4	-71145.687	44724.101
BR5	-71149.527	44711.681
BR6	-71154.781	44738.989
BR7	-71158.473	44727.046
BR8	-71162.165	44715.104
BR9	-71172.945	44742.872
BR10	-71176.430	44731.598
BR11	-71179.914	44720.325
BR12	-71176.933	44692.956
BR13	-71183.749	44671.499

二級河川野沢川 → 調査地点位置図 (S=1:500)

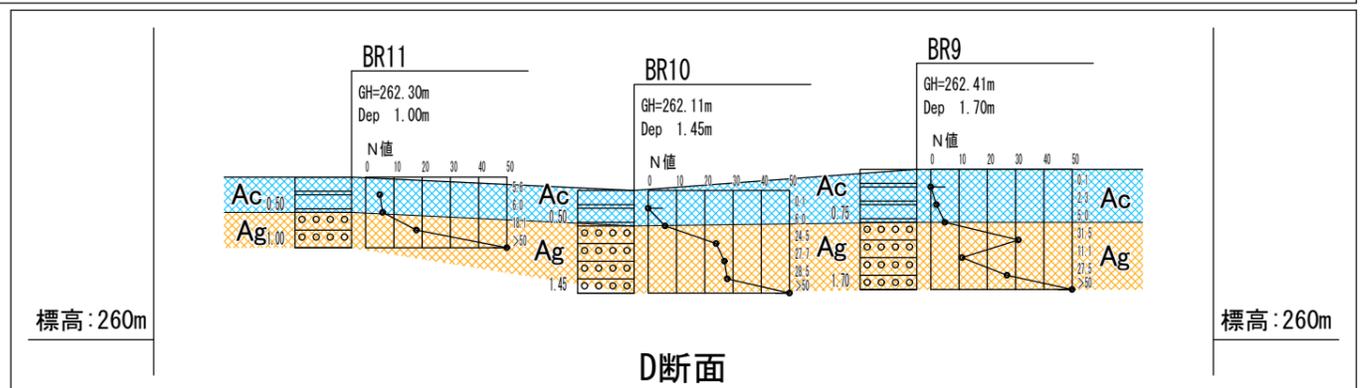
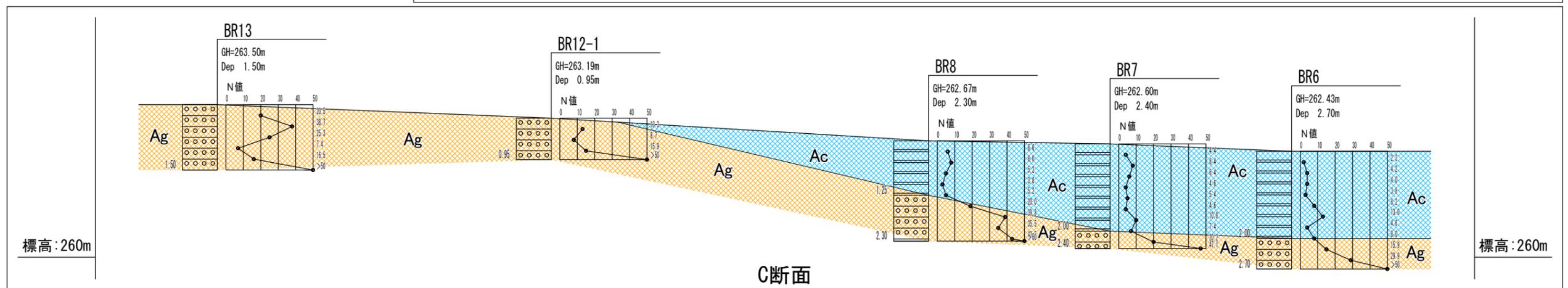
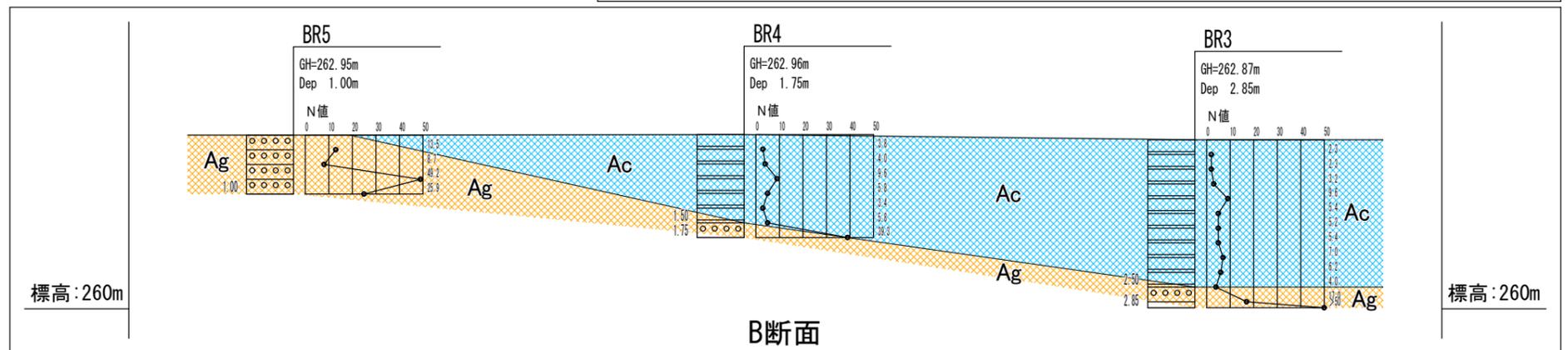
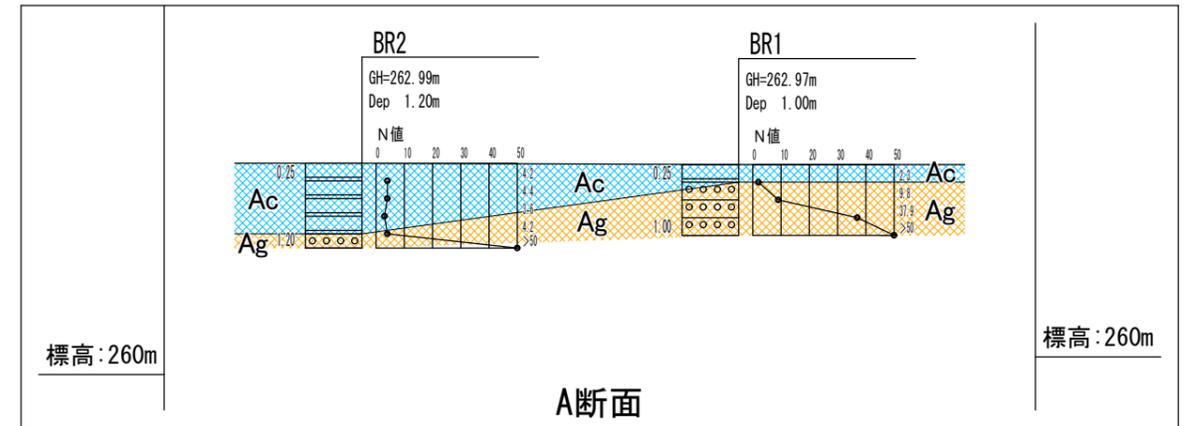
工事名	平成30年度 成美地区地区活性化事業に伴う 用地測量業務委託		
工事箇所	駿東郡小山町	藤曲・小山	地内
図面名	用地平面図		
縮尺	S=1/250	図面番号	葉中番
作成年月日	H30.8	業者名	株式会社駿河調査設計
静岡県駿東郡小山町			

用地平面図 駿東郡小山町



二級河川野沢川 → 地層断面線図 (S=1:500)

工事名	平成30年度 成美地区地区活性化事業に伴う 用地測量業務委託		
工事箇所	駿東郡小山町	藤曲・小山	地内
図面名	用地平面図		
縮尺	S=1/250	図面番号	葉中番
作成年月日	H30.8	業者名	株式会社駿河調査設計
静岡県駿東郡小山町			



凡例
 Ac 粘粘土
 Ag 礫質土

地質想定断面図 (V=1:100、H=1:300)

スウェーデン式サウンディング試験換算結果

調査件名 平成30年度 成美地区地区活性化事業に伴う用地測量業務委託

地点番号 BR2

地盤高 GH=262.99m

試験年月日 平成30年 8月23日 試験者 村越 亮介

計算式 N値 (砂質土)=0+2・W_{sw}+0.067・N_{sw}
(粘性土)=0+3・W_{sw}+0.05・N_{sw}

载荷装置の種類 自動 回転装置の種類 自動

q a =0+30・W_{sw}+0.6・N_{sw}

荷重 W _{sw} kN	半回転数 N _a	貫入深さ D m	貫入量 L cm	1m当たりの 半回転数 N _{sw}	記事	推定土質名	換算 N値	換算 q a	深さ m	推定 柱状図	N値 回 q a kN/m ²
1.00	6	0.25	25	24		粘性土	4.2	44.4	0		0
1.00	7	0.50	25	28		粘性土	4.4	46.8	0.25		10
1.00	3	0.75	25	12		粘性土	3.6	37.2	0.50		20
1.00	6	1.00	25	24		粘性土	4.2	44.4	0.75		30
1.00	155	1.20	20	775	打撃20回以上	礫質土	>50	>170	1.00	○	40
									1.20	○	50
											100
											150
									2		
									3		
									4		
									5		
									6		
									7		
									8		
									9		
									10		

特記事項

株式会社 駿河調査設計

スウェーデン式サウンディング試験換算結果

調査件名 平成30年度 成美地区地区活性化事業に伴う用地測量業務委託

地点番号 BR3

地盤高 GH=262.87m

試験年月日 平成30年 8月23日 試験者 村越 亮介

計算式 N値 (砂質土)=0+2・W_{sw}+0.067・N_{sw}
 (粘性土)=0+3・W_{sw}+0.05・N_{sw}
 q_a=0+30・W_{sw}+0.6・N_{sw}

載荷装置の種類 自動 回転装置の種類 自動

荷重 W _{sw} kN	半回転数 N _a	貫入深さ D m	貫入量 L cm	1m当りの 半回転数 N _{sw}	記 事	推定土質名	換算 N値	換算 q _a	深さ m	推定 柱状図	N値 回 q _a kN/m ²
0.75	0	0.25	25	0	自沈	粘性土	2.3	22.5	0		0
0.75	0	0.50	25	0	自沈	粘性土	2.3	22.5	0		0
1.00	1	0.75	25	4		粘性土	3.2	32.4	0		10
1.00	33	1.00	25	132	打撃3回	粘性土	9.6	109.2	1		20
1.00	12	1.25	25	48		粘性土	5.4	58.8	1		30
1.00	11	1.50	25	44		粘性土	5.2	56.4	1		40
1.00	12	1.75	25	48		粘性土	5.4	58.8	1		50
1.00	20	2.00	25	80		粘性土	7.0	78.0	2		60
1.00	16	2.25	25	64		粘性土	6.2	68.4	2		70
1.00	5	2.50	25	20		粘性土	4.0	42.0	2		80
1.00	56	2.75	25	224	打撃6回	礫質土	17.0	164.4	2		100
1.00	101	2.85	10	1010	打撃20回以上	礫質土	>50	>170	3		150
									3		
									4		
									5		
									6		
									7		
									8		
									9		
									10		

特記事項

スウェーデン式サウンディング試験換算結果

調査件名 平成30年度 成美地区地区活性化事業に伴う用地測量業務委託

地点番号 BR5

地盤高 GH=262.95m

試験年月日 平成30年 8月23日 試験者 村越 亮介

計算式 N値 (砂質土)=0+2・W_{sw}+0.067・N_{sw}
(粘性土)=0+3・W_{sw}+0.05・N_{sw}

载荷装置の種類 自動 回転装置の種類 自動

q a =0+30・W_{sw}+0.6・N_{sw}

荷重 W _{sw} kN	半回転数 N _a	貫入深さ D m	貫入量 L cm	m ² 当たりの 半回転数 N _{sw}	記事	推定土質名	換算 N値	換算 q a	深さ m	推定 柱状図	N値 回 q a kN/m ²
1.00	43	0.25	25	172	打撃3回	礫質土	13.5	133.2	0	○	0
1.00	25	0.50	25	100		礫質土	8.7	90.0	0.25	○	10
1.00	176	0.75	25	704	打撃20回以上	礫質土	49.2	>170	0.50	○	20
1.00	89	1.00	25	356	打撃20回以上	礫質土	25.9	>170	0.75	○	30
									1.00	○	40
									2.00		50
									3.00		60
									4.00		70
									5.00		80
									6.00		90
									7.00		100
									8.00		110
									9.00		120
									10.00		130

特記事項

スウェーデン式サウンディング試験換算結果

調査件名 平成30年度 成美地区地区活性化事業に伴う用地測量業務委託

地点番号 BR6

地盤高 GH=262.43m

試験年月日 平成30年 8月23日 試験者 村越 亮介

計算式 N値 (砂質土)=0+2・W_{sw}+0.067・N_{sw}
 (粘性土)=0+3・W_{sw}+0.05・N_{sw}
 q_a=0+30・W_{sw}+0.6・N_{sw}

載荷装置の種類 自動 回転装置の種類 自動

荷重 W _{sw} kN	半回転数 N _a	貫入深さ D m	貫入量 L cm	1m当たりの 半回転数 N _{sw}	記 事	推定土質名	換算 N値	換算 q _a	深さ m	推定 柱状図	N値 回 q _a kN/m ²
0.75	0	0.25	25	0	自沈	粘性土	2.3	22.5	0		0
1.00	6	0.50	25	24		粘性土	4.2	44.4	0.25		10
1.00	5	0.75	25	20		粘性土	4.0	42.0	0.50		20
1.00	4	1.00	25	16		粘性土	3.8	39.6	0.75		30
1.00	26	1.25	25	104		粘性土	8.2	92.4	1.00		40
1.00	50	1.50	25	200	打撃2回	粘性土	13.0	150.0	1.25		50
1.00	8	1.75	25	32		粘性土	4.6	49.2	1.50		60
1.00	25	2.00	25	100		粘性土	8.0	90.0	1.75		70
1.00	52	2.25	25	208	打撃9回	礫質土	15.9	154.8	2.00		80
1.00	104	2.50	25	416	打撃6回	礫質土	29.9	>170	2.25		90
1.00	172	2.70	20	860	打撃20回以上	礫質土	>50	>170	2.50		100
									2.70		110
									2.90		120
									3.10		130
									3.30		140
									3.50		150
									3.70		160
									3.90		170
									4.10		180
									4.30		190
									4.50		200
									4.70		210
									4.90		220
									5.10		230
									5.30		240
									5.50		250
									5.70		260
									5.90		270
									6.10		280
									6.30		290
									6.50		300
									6.70		310
									6.90		320
									7.10		330
									7.30		340
									7.50		350
									7.70		360
									7.90		370
									8.10		380
									8.30		390
									8.50		400
									8.70		410
									8.90		420
									9.10		430
									9.30		440
									9.50		450
									9.70		460
									9.90		470
									10.10		480
									10.30		490
									10.50		500

特記事項

株式会社 駿河調査設計

スウェーデン式サウンディング試験換算結果

調査件名 平成30年度 成美地区地区活性化事業に伴う用地測量業務委託

地点番号 BR7

地盤高 GH=262.60m

試験年月日 平成30年 8月23日 試験者 村越 亮介

計算式 N値 (砂質土)=0+2・W_{sw}+0.067・N_{sw}
 (粘性土)=0+3・W_{sw}+0.05・N_{sw}
 q_a=0+30・W_{sw}+0.6・N_{sw}

載荷装置の種類 自動 回転装置の種類 自動

荷重 W _{sw} kN	半回転数 N _a	貫入深さ D m	貫入量 L cm	1m当たりの 半回転数 N _{sw}	記事	推定土質名	換算 N値	換算 q _a	深さ m	推定 柱状図	N値 回 q _a kN/m ²
1.00	7	0.25	25	28		粘性土	4.4	46.8	0		0
1.00	27	0.50	25	108	打撃3回	粘性土	8.4	94.8	0.50		10
1.00	17	0.75	25	68		粘性土	6.4	70.8	0.75		20
1.00	8	1.00	25	32		粘性土	4.6	49.2	1.00		30
1.00	12	1.25	25	48		粘性土	5.4	58.8	1.25		40
1.00	8	1.50	25	32		粘性土	4.6	49.2	1.50		50
1.00	39	1.75	25	156		粘性土	10.8	123.6	1.75		60
1.00	22	2.00	25	88		粘性土	7.4	82.8	2.00		70
1.00	68	2.25	25	272	打撃3回	礫質土	20.2	>170	2.25		80
1.00	101	2.40	15	673	打撃20回以上	礫質土	47.1	>170	2.40		90
									3.00		100
									4.00		110
									5.00		120
									6.00		130
									7.00		140
									8.00		150
									9.00		
									10.00		

特記事項

株式会社 駿河調査設計

スウェーデン式サウンディング試験換算結果

調査件名 平成30年度 成美地区地区活性化事業に伴う用地測量業務委託

地点番号 BR8

地盤高 GH=262.67m

試験年月日 平成30年 8月24日 試験者 村越 亮介

計算式 N値 (砂質土)= $0+2 \cdot W_{sw}+0.067 \cdot N_{sw}$
 (粘性土)= $0+3 \cdot W_{sw}+0.05 \cdot N_{sw}$
 $q_a = 0+30 \cdot W_{sw}+0.6 \cdot N_{sw}$

載荷装置の種類 自動 回転装置の種類 自動

荷重 W _{sw} kN	半回転数 N _a	貫入深さ D m	貫入量 L cm	1m当たりの 半回転数 N _{sw}	記事	推定土質名	換算 N値	換算 q _a	深さ m	推定 柱状図	N値 回 q _a kN/m ²
1.00	18	0.25	25	72		粘性土	6.6	73.2	0		0
1.00	25	0.50	25	100		粘性土	8.0	90.0	0.25		10
1.00	11	0.75	25	44		粘性土	5.2	56.4	0.50		20
1.00	4	1.00	25	16		粘性土	3.8	39.6	0.75		30
1.00	11	1.25	25	44		粘性土	5.2	56.4	1.00		40
1.00	67	1.50	25	268	打撃3回	礫質土	20.0	>170	1.25		50
1.00	141	1.75	25	564	打撃6回	礫質土	39.8	>170	1.50		60
1.00	125	2.00	25	500	打撃15回	礫質土	35.5	>170	1.75		70
1.00	155	2.25	25	620	打撃20回以上	礫質土	43.5	>170	2.00		80
1.00	47	2.30	5	940	打撃20回以上	礫質土	>50	>170	2.25		90
									2.30		100
									2.50		110
									2.75		120
									3.00		130
									3.25		140
									3.50		150
									3.75		150
									4.00		150
									4.25		150
									4.50		150
									4.75		150
									5.00		150
									5.25		150
									5.50		150
									5.75		150
									6.00		150
									6.25		150
									6.50		150
									6.75		150
									7.00		150
									7.25		150
									7.50		150
									7.75		150
									8.00		150
									8.25		150
									8.50		150
									8.75		150
									9.00		150
									9.25		150
									9.50		150
									9.75		150
									10.00		150

特記事項

スウェーデン式サウンディング試験換算結果

調査件名 平成30年度 成美地区地区活性化事業に伴う用地測量業務委託

地点番号 BR9

地盤高 GH=262.41m

試験年月日 平成30年 8月24日 試験者 村越 亮介

計算式 N値 (砂質土)=0+2・W_{sw}+0.067・N_{sw}
(粘性土)=0+3・W_{sw}+0.05・N_{sw}

載荷装置の種類 自動 回転装置の種類 自動

q a =0+30・W_{sw}+0.6・N_{sw}

荷重 W _{sw} kN	半回転数 N _a	貫入深さ D m	貫入量 L cm	1m当たりの 半回転数 N _{sw}	記 事	推定土質名	換算 N値	換算 q a	深さ m	推定 柱状図	N値 回 q a kN/m ²
0.05	0	0.25	25	0	自沈	粘性土	0.1	1.5	0		0
0.75	0	0.50	25	0	自沈	粘性土	2.3	22.5	0		0
1.00	10	0.75	25	40		粘性土	5.0	54.0	0		0
1.00	110	1.00	25	440	打撃18回	礫質土	31.5	>170	1	○	10
1.00	34	1.25	25	136		礫質土	11.1	111.6	1	●	20
1.00	95	1.50	25	380		礫質土	27.5	>170	1	○	30
1.00	154	1.70	20	770	打撃20回以上	礫質土	>50	>170	1	●	40
									2		50
									3		100
									4		150
									5		
									6		
									7		
									8		
									9		
									10		

特記事項

株式会社 駿河調査設計

スウェーデン式サウンディング試験換算結果

調査件名 平成30年度 成美地区地区活性化事業に伴う用地測量業務委託

地点番号 BR10

地盤高 GH=262.11m

試験年月日 平成30年 8月24日 試験者 村越 亮介

計算式 N値 (砂質土)= $0+2 \cdot W_{sw}+0.067 \cdot N_{sw}$
 (粘性土)= $0+3 \cdot W_{sw}+0.05 \cdot N_{sw}$
 $q_a = 0+30 \cdot W_{sw}+0.6 \cdot N_{sw}$

載荷装置の種類 自動 回転装置の種類 自動

荷重 W _{sw} kN	半回転数 N _a	貫入深さ D m	貫入量 L cm	1m当たりの 半回転数 N _{sw}	記事	推定土質名	換算 N値	換算 q _a	深さ m	推定 柱状図	N値 回 q _a kN/m ²
0.05	0	0.25	25	0	自沈	粘性土	0.1	1.5	0		0
1.00	15	0.50	25	60		粘性土	6.0	66.0	0.25		10
1.00	84	0.75	25	336	打撃12回	礫質土	24.5	>170	0.50		20
1.00	96	1.00	25	384	打撃9回	礫質土	27.7	>170	0.75		30
1.00	99	1.25	25	396	打撃6回	礫質土	28.5	>170	1.00		40
1.00	161	1.45	20	805	打撃20回以上	礫質土	>50	>170	1.25		50
									1.45		100
									2.00		150
									3.00		
									4.00		
									5.00		
									6.00		
									7.00		
									8.00		
									9.00		
									10.00		

特記事項

株式会社 駿河調査設計

スウェーデン式サウンディング試験換算結果

調査件名 平成30年度 成美地区地区活性化事業に伴う用地測量業務委託

地点番号 BR11

地盤高 GH=262.30m

試験年月日 平成30年 8月24日 試験者 村越 亮介

計算式 N値 (砂質土)=0+2・W_{sw}+0.067・N_{sw}
 (粘性土)=0+3・W_{sw}+0.05・N_{sw}
 q_a=0+30・W_{sw}+0.6・N_{sw}

载荷装置の種類 自動 回転装置の種類 自動

荷重 W _{sw} kN	半回転数 N _a	貫入深さ D m	貫入量 L cm	1m当たりの 半回転数 N _{sw}	記事	推定土質名	換算 N値	換算 q _a	深さ m	推定 柱状図	N値 回 q _a kN/m ²
1.00	13	0.25	25	52		粘性土	5.6	61.2	0	○	5
1.00	15	0.50	25	60		粘性土	6.0	66.0	0.50	○	10
1.00	60	0.75	25	240	打撃6回	礫質土	18.1	>170	0.75	●	20
1.00	216	1.00	25	864	打撃20回以上	礫質土	>50	>170	1.00	●	30
									1.50		40
									2.00		50
									2.50		60
									3.00		70
									3.50		80
									4.00		90
									4.50		100
									5.00		110
									5.50		120
									6.00		130
									6.50		140
									7.00		150
									7.50		
									8.00		
									8.50		
									9.00		
									9.50		
									10.00		

特記事項

スウェーデン式サウンディング試験換算結果

調査件名 平成30年度 成美地区地区活性化事業に伴う用地測量業務委託

地点番号 BR12-1

地盤高 GH=263.19m

試験年月日 平成30年 8月23日 試験者 村越 亮介

計算式 N値 (砂質土)=0+2・W_{sw}+0.067・N_{sw}
(粘性土)=0+3・W_{sw}+0.05・N_{sw}

载荷装置の種類 自動 回転装置の種類 自動

q a =0+30・W_{sw}+0.6・N_{sw}

荷重 W _{sw} kN	半回転数 N _a	貫入深さ D m	貫入量 L cm	1m当たりの 半回転数 N _{sw}	記事	推定土質名	換算 N値	換算 q a	深さ m	推定 柱状図	N値 回 q a kN/m ²
1.00	42	0.25	25	168	打撃3回	礫質土	13.3	130.8	0	○	0
1.00	25	0.50	25	100		礫質土	8.7	90.0	0.25	○	10
1.00	52	0.75	25	208	打撃4回	礫質土	15.9	154.8	0.50	○	20
1.00	180	0.95	20	900	打撃20回以上	礫質土	>50	>170	0.75	○	50
									1.00	○	100
									2.00		
									3.00		
									4.00		
									5.00		
									6.00		
									7.00		
									8.00		
									9.00		
									10.00		

特記事項

株式会社 駿河調査設計

スウェーデン式サウンディング試験換算結果

調査件名 平成30年度 成美地区地区活性化事業に伴う用地測量業務委託

地点番号 BR13

地盤高 GH=263.50m

試験年月日 平成30年 8月23日 試験者 村越 亮介

計算式 N値 (砂質土)= $0+2 \cdot W_{sw}+0.067 \cdot N_{sw}$
 (粘性土)= $0+3 \cdot W_{sw}+0.05 \cdot N_{sw}$

載荷装置の種類 自動 回転装置の種類 自動

qa = $0+30 \cdot W_{sw}+0.6 \cdot N_{sw}$

荷重 W _{sw} kN	半回転数 N _a	貫入深さ D m	貫入量 L cm	1m当たりの 半回転数 N _{sw}	記事	推定土質名	換算 N値	換算 q _a	深さ m	推定 柱状図	N値 回 q _a kN/m ²
1.00	69	0.25	25	276	打撃12回	礫質土	20.5	>170	0.25	○	20
1.00	137	0.50	25	548	打撃12回	礫質土	38.7	>170	0.50	○	39
1.00	87	0.75	25	348	打撃9回	礫質土	25.3	>170	0.75	○	25
1.00	20	1.00	25	80		礫質土	7.4	78.0	1.00	○	7
1.00	54	1.25	25	216	打撃3回	礫質土	16.5	159.6	1.25	○	17
1.00	183	1.50	25	732	打撃20回以上	礫質土	>50	>170	1.50	○	>50
									2.00		
									3.00		
									4.00		
									5.00		
									6.00		
									7.00		
									8.00		
									9.00		
									10.00		

特記事項

株式会社 駿河調査設計

< 卷末資料 >

- ・ 使用機材カタログ
- ・ 現場写真



スウェーデン式サウンディング
自動貫入試験機

ジオカルテ[®]Ⅲ

GeoKarte[®]Ⅲ

初めてスウェーデン式サウンディング試験を自動化したジオカルテが、
荷重センサ搭載でさらなる試験データの信頼性を向上させて新登場。
快適で、正確な貫入試験を実現します。



運びやすい ビルドブロック構造

●組立、分解が容易で人力での運搬ができ、狭い場所への搬入にも対応できます。



※1ブロックの質量は25kg以下 ※一般的なバンタイプ車積載可能 ※組立時間は2分以内(1人で対応した場合)

NITTO SEIKO

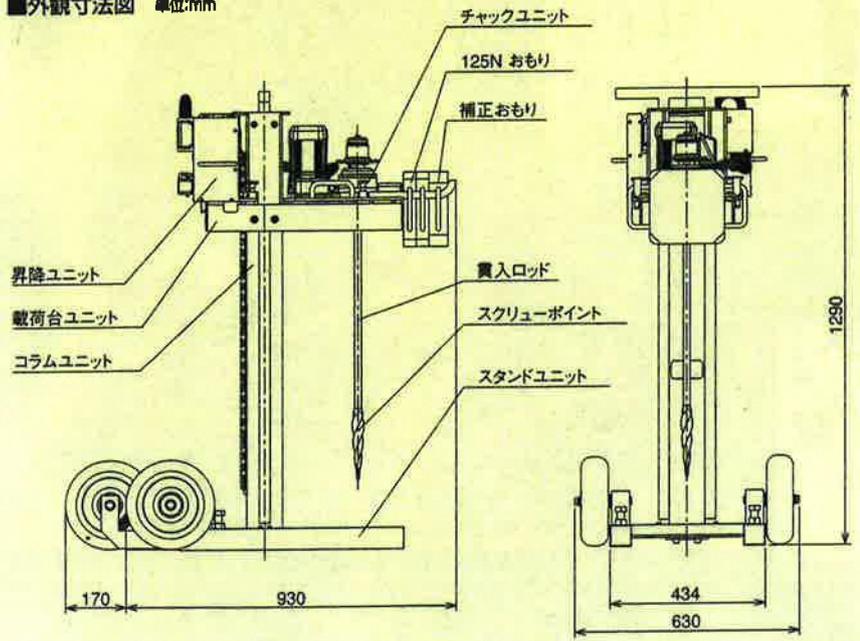
自動貫入試験機 ジオカルテ[®] III

仕様

型式	SS301型
試験方式	スウェーデン式サウンディング試験方法に準じたコンピュータ制御による自動貫入試験機
試験荷重の変更	自沈状態を自動検出し、6段階(0.05、0.15、0.25、0.50、0.75、1.0kN) 又は4段階(0.25、0.50、0.75、1.0kN)で自動切り替え
チャック開閉方式	自動でロッドをチャッキング、手動でチャック解除
貫入ロッド	φ19×750mm溝付き 外周3カ所にチャッキング用溝加工
最大ロッド回転速度	約25rpm
ロッド最大回転トルク	210N・m
最大昇降速度	160mm/秒
荷重センサ	歪みゲージ式荷重検出器
荷重制御	荷重センサによる荷重フィードバック制御
制御方式	マイコン制御(32bit制御用マイコン使用)
試験データ記録	標準モード: 自沈貫入時 状態変化で記録 回転貫入時: 250mm毎に記録
試験データ出力	内蔵プリンタに印字 通信(RS232C)を使用してパソコン等へ出力 コンパクトフラッシュ(CF)、USB(オプション)へ出力
試験データ出力内容	試験情報(試験年月日、時間、試験番号) 試験データ(貫入量、荷重、半回転数、観察記録、ロッド回転トルク等)
データ記憶容量	回転貫入のみの場合で、50ポイント、合計5000m分
試験機構造	ビルドブロック方式(5つのユニットに分割、各ユニット重量25kg以下)
試験機寸法	W630×D930(D1100)×H1290 ()内は車輪引き出し時。(試験時)
試験機質量	105kg(おもり無し) 149kg(おもり有り)
制御装置寸法	W448×D349.5×H459
制御装置質量	24.5kg
電源仕様	単相AC100V±5% 15A 50/60Hz(関西/関東共用)
使用温度	0~45℃

- ・延長コードは、2.0mm²以上、20m以内でご使用下さい。
- ・発電機を使用する場合は、AC100V 1.6kW以上のインバーター仕様をご使用下さい。
- ・ロッド引き抜き装置と同時使用する場合は、AC100V 2.3kW以上のインバーター仕様をご使用下さい。
- ・9ピンリアルポートをもつパソコンの場合、RS-232C通信ケーブル(9ピン~25ピンのリバーケーブル)をご使用下さい。

■外観寸法図 単位:mm



システムアップ製品

●GクローラーV

本体概算質量:約200kg



●ロッド引き抜き装置



●スクリューポイント(1箱5本)

JISメートル並目ねじM14



●スクリューポイント止まりゲージ

(スクリューポイントの
摩耗検査器具)



●溝付き貫入ロッド(1組10本)

当社専用ロッド 750mm



Nitta 日東精工株式会社 制御システム事業部

<http://www.nittoseiko.co.jp/>

商品に関するお問い合わせは・・・カスタマーセンター:TEL (0773) 43-1670

制御システム事業部 〒623-0041 京都府綾部市延町野上畑30 ☎(0773) 42-3151(代) Fax(0773) 42-3155
 東京支店 〒223-0052 横浜市港北区綱島東6-2-21 ☎(045) 545-5326(代) Fax(045) 545-6935
 名古屋支店 〒465-0025 名古屋市名東区上社5-405 ☎(052) 709-5064(代) Fax(052) 709-5065
 本社販売課 〒623-0041 京都府綾部市延町野上畑30 ☎(0773) 43-1591(代) Fax(0773) 43-1595
 九州出張所 〒812-0897 福岡市博多区半道橋1-6-46 ☎(092) 411-1724(代) Fax(092) 411-9883

●性能向上のため、予告なく仕様などを変更させていただくことがあります。

ISO 100 再生紙を使用し、環境にやさしい植物性大豆油インクを使用しています。

H27.10.9

HO 05021

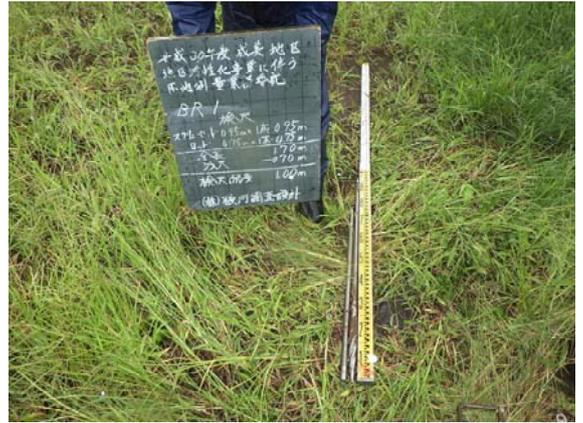
BR1



BR1全景



BR1残尺



BR1検尺

BR2



BR2全景



BR2残尺



BR2検尺

BR3



BR3全景



BR3残尺



BR3検尺

BR4



BR4全景



BR4残尺



BR4検尺

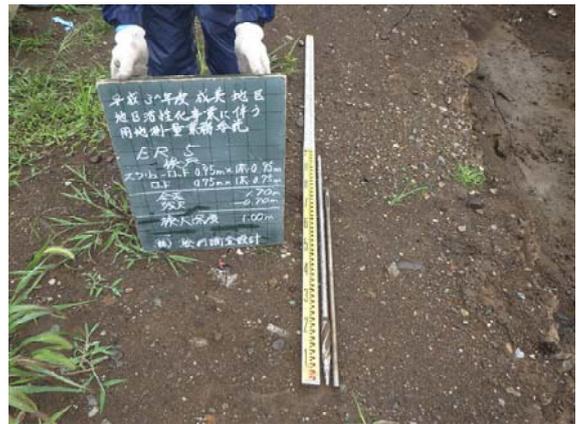
BR5



BR5全景



BR5残尺



BR5検尺

BR6



BR6全景



BR6残尺



BR6検尺

BR7



BR7全景



BR7残尺



BR7検尺

BR8



BR8全景



BR8残尺



BR8検尺

BR9



BR9全景



BR9残尺



BR9検尺

BR10



BR10全景



BR10残尺



BR10検尺

BR11



BR11全景



BR11残尺



BR11検尺

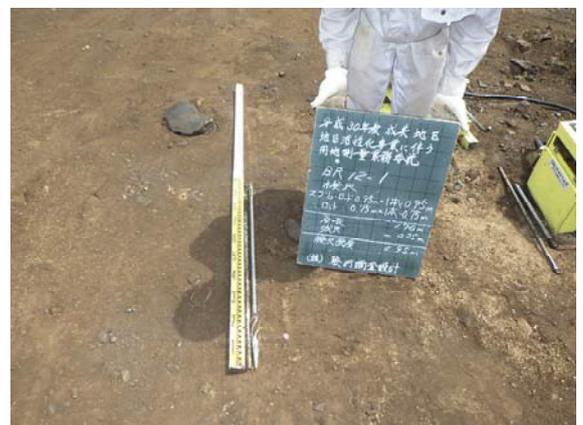
BR12-1



BR12-1全景



BR12-1残尺



BR12-1検尺

BR13



BR13全景



BR13残尺



BR13検尺

BM



TS. 8 (H=262.798m)